

第1回 全国召命促進チーム（仮称）会合 ― 発足会 議事録

日時：2009年12月19日 14:00～16:00

場所：イエズス会管区長館（岐部ホール） 会議室402号室

出席：池長潤大司教、野村純一司教、キエサ師、シェガレ師、古里慶史郎師、松浦信行師、三田一郎師、Sr. 前田葉子、Sr. 池田洋子、Sr. 原敬子、大木聡氏、川原順平氏、伊藤裕明氏、大山悟（書記）

A. 司教様方からのことば

- ・池長大司教と野村司教よりこの会発足までの経緯が説明された。
- ・日本の教会において司祭・修道者・信徒の直面する問題などを一緒に考え、多くの人が福音の喜びを感じ、福音のために協力して働ける状況が生まれるとよい。そのため協力して欲しい。
- ・召命の問題は多岐に及ぶ問題であり、捉えどころのない複合総合的問題である。言い換えれば、それはどこからでも取り組み始められるものである。神の照らしと導きのもとに、自分たちのできるところから具体的に組み組んで行って欲しい。

B. このチームの目的の確認

- ・このチームの目的として以下の5項目が、簡単な説明と共に紹介された。
 - ① 日本カトリック教会における司祭、修道者（女）、信徒の召命促進
 - ② 教会が直面している種々の問題を明確にし、その解決の糸口を教会全体で考える。
 - ③ 日本カトリック教会全体で「召命の促進」を考えるための情報ネットワーク構築。
 - ④ 召命黙想会、研修会、勉強会などの企画、開催、支援
 - ⑤ シンポジウム（講演・公開討論）などを企画、開催・直面している諸問題を共に考える。

C これからの具体的な取り組みについて

1. 自由な意見交換

* 召命ということばの使い方

- ・司祭、修道者、信徒の召命内容はそれぞれ異なるので、もっと意味を限定するべきではないか。
- ・召命という言葉には広い共通の意味と、それぞれの対象（司祭、修道者、信徒）に限定された意味があり得る。
- ・召命とは「神の呼びかけ」がその本質である。従って召命という場合、神の「呼びかけ」に気づかせたり、具体的にこの会が若者や信徒に「呼びかけていくこと」が大切である。
- ・若者たちにとっては、召命が司祭、修道者の召命と限定されるなら、束縛や重さを感じる。広い意味での召命（使命）の意味の方が関わりやすい。現代社会における自分の召命（使命）を考える中で、司祭、修道者の召命への開きもあり得るのではないか。
- ・召命は自分が、今の社会の中で「どう生きるか」を考えること、しかもそれを聖霊の導きの中で考えていくところから始まるべき事柄である。

* 優先順位を決めて具体的ところから始める

- ・召命に関する事柄は多岐にわたる複合問題であるので、この会の目的に即して、何が優先的事柄であるかを明確にし、そこから具体的に組み組むべきである。

* 召命は迅速に考え、対応するべき問題である。

- ・教会の現状、修道会の現状を見るときに、召命は即時的、即実行的問題である。議論をながながと繰り返す時間はない問題である。故に具体的なものを考えて、着実に前進して欲しい。

* この会の目的、ゴールを明確にすること。

- ・教会の中で共通理解をえられる大きなビジョンを示すことが不可欠である
- ・この会の活動が、各地の教会、修道会でに行われている召命活動に似たものを行うだけでは、この会の存在の意味がないのではないか。
- ・教会の閉塞状況に光を与え、教会に息を吹き入れるような会であって欲しい
 - ・若者、子供たち、若い夫婦の教会離れが目立つ。
 - ・教会はみんなの場、安心する場、力を得る場、人間的に豊かになる場という感覚を若い世代

- に伝えるために何か必要かを考え、かつ考えさせるような会であって欲しい。
- ・現代の若者が持っている宗教や信仰についての誤解に応える会であって欲しい。

***まとめと確認**

- ・この会の第一の目的は
「日本カトリック教会における司祭、修道者（女）、信徒の召命促進」である。
それは「日本教会の活性化・輝き」を目指すことにもなる。
- ・召命概念を明確にする。
 - ・召命の共通の意味と、司祭、修道者、信徒の召命の相違を明確に示す。
- ・召命は神からの「呼びかけ」であるから、その点を考慮して、
 - ・日本教会の神の民に、神の呼びかけをその意味を明確に示していく
 - ・日本教会の神の民に、具体的に呼びかけていく。
- ・この会の独自性は…
 - ・召命問題を信徒にまで広げて考えていくことである…信徒召命が司祭、修道者の召命の基盤になると言う視点から…
 - ・日本全国の各教会、修道会でなされている召命促進の活動情報を集め、それを誰もが知り得るように、間を取り持つことである。
 - ・召命促進を妨げる問題を日本の神の民と共に考えるための、情報発信・情報交換・情報共有の会である。

G. 今後の費用について

- ・交通費、食費は自己負担
- ・その他の費用…
 - ・ホームページ開設、運営費用…とりあえず大山が負担